

市営施設の「指定管理者」を募集します

公の施設の管理を民間事業者を含む各種団体等に委ねることが出来る「指定管理者制度」については、広報の11月1日号でお知らせしましたが、このたび市では、次の3施設について指定管理者を募集することにしましたのでお知らせいたします。

1. 施設の名称

名称	所在地	設置の目的
湯ノ岱温泉	小森字湯ノ岱67	住民の健康と福祉の増進を図り、一般観光客の利用に供する。
阿仁異人館	阿仁銀山下字新町	郷土の歴史、文化の認識を深め教育文化の発展に資する。併せて、観光拠点施設としての役割を担う。
郷土文化保存伝承館	41-22	

※「阿仁異人館」と「郷土文化保存伝承館」は2施設セットが管理の条件となります。

2. 3施設の指定期間

平成18年4月1日から21年3月31日まで（3カ年）

3. 申請に必要な資格等

秋田県内に主たる事務所を有する法人、その他の団体

4. 申請の手続き

(1) 申請書類の交付～平成18年1月5日（木）までに産業部商工観光課（北秋田市宮前町4-15 電話62-6639）にて希望者に交付しますので、おいでください。

※郵送の交付（送料負担）も行いますので、ご希望の方はお申出ください。

(2) 申請書の提出期限～平成18年1月5日（木）までに、産業部商工観光課へ提出してください。

5. 施設説明会の開催

次により各施設にて実施しますので、ご希望の方は、開催日前日までに産業部商工観光課までお知らせください。

■湯ノ岱温泉～平成17年12月6日（火）午後1時30分から

■阿仁異人館・郷土文化保存伝承館～平成17年12月7日（水）午後1時30分から

6. 指定管理者の選定等

(1) 候補者の選定～市の条例に基づく選考審査を経て、指定管理者の候補者を決めます。

(2) 上記の「候補者」を市議会の議決でもって「指定管理者」に指定します。

7. お問い合わせ

産業部商工観光課 ☎62-6639

市長日誌

11/15

1日（火）あきた立地セミナーin名古屋に出席

3日（木）北秋田市営プール地鎮祭に出席

6日（日）東京ふるさと森吉会第19回総会・懇親会に出席

8日（火）国土緑化推進機構による第59回全国植樹祭会場の視察へ対応

9日（水）観光エージェントとの懇談に出席

10日（木）秋田内陸線再生支援協議会に出席

11日（金）鷹巣医師団定例医談会に出席

12日（土）鷹巣中央児童館竣工式に出席

13日（日）鷹巣中央児童館竣工記念・鷹巣中央小学校創立130周年記念合同祝賀会に出席

14日（月）第26回助け合い婦人芸能祭に出席

15日（火）平成17年第6回北秋田市議会臨時会に出席

第1回北秋田市都市計画審議会に出席し、委員へ委嘱状を交付

森吉山スキー場にかかる陳情のためコクド棟東

北総支配人を訪問

受章おめでとうございます

平成17年秋の叙勲・褒章受章者が発表され、北秋田市からは、地方自治功労で元阿仁町議会議員の佐藤時幹氏が旭日小綬章、元合川町議会議員の小野義夫氏が旭日双光章を受賞。消防功労で元森吉町消防団副団長の高橋邦男氏、元鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部消防指令長の近藤整市氏が瑞宝単光章を受賞しました。また、自衛隊協力功労により自衛官募集相談員で県自衛隊退職者雇用協議会副会長の坂本圀義氏が藍綬褒章に輝き、5氏が長年にわたる功績が認められ、栄誉を受けられました。

旭日小綬章



佐藤時幹氏
(幸屋・81歳)

昭和26年大阿仁村議会議員に初当選以来、13期52年にわたり、大阿仁村、阿仁町の発展・振興

に多大な貢献をされました。山間高冷地・豪雪地帯において、基幹産業である農林業の振興に加え、生活環境や教育環境の整備に力を注ぎ、生活基盤の確立と活性化のため献身的に活躍されました。また、教育民生委員長、総務財政委員長、副議長、議長などの要職を歴任し、円滑で活力ある議会運営に努め、その重責を全うされています。

旭日双光章



小野義夫氏
(木戸石・77歳)

昭和47年、地域住民の熱意に押されて合川町議会議員に当選以来、平成16年3月まで8期32

年にわたり在職し、町政発展に尽力されました。特に平成4年4月から平成8年3月までは産業建設常任委員長、平成11年12月から平成16年3月までは総務財政常任委員長を務め、議会の円滑な運営に尽力する等、高邁な政治姿勢と信念をもって、町の産業振興、住民の福祉向上、健全財政の維持に多大な貢献をされています。

瑞宝単光章



高橋邦男氏
(鍛冶町・70歳)

昭和29年11月に旧前田村消防団員を任命され、平成15年12月に旧森吉町消防団副団長で引退す

るまでの49年間にわたり、消防活動に尽力されました。地域住民の生命と財産を守るため、自らの研鑽を重ねるほか、いち早く防火活動が行えるよう、消防器具の整備点検はもとより、防火水利の確保等の活動を実践されました。不屈な精神と、長年にわたる経験により、冷静沈着に物事を判断し、住民からの信頼も厚く、防火体制の普及を図ってこられました。

瑞宝単光章



近藤整市氏
(横町・65歳)

昭和40年4月に消防団員となり、昭和48年5月に鷹巣阿仁広域市町村圏組合の消防士に任命

され、同消防指令長として退職されるまでの36年間にわたり数多くの現場で指揮を執るなど人命と財産を守る消火活動に尽力されました。昭和58年の日本海中部地震の発生により水難救助隊員を要請し、その後も現場活動をおし、当本部の隊編成の必要性を感じ、強力に要望し、平成4年には水難救助隊の発足に至り、初代隊長を務められました。

藍綬褒章



坂本圀義氏
(三木田・70歳)

自衛隊と地元首長の任命による自衛官募集相談員を務め、30年にわたります。

の情報を集め、提供され、これまでの入隊者は百数十人にのぼります。隊友会秋田県支部連合会副会長を経て、現在は本県と青森県津軽地区の自衛隊退職者雇用協議会の役員を務められています。ご自身の事業では、平成12年に介護サービス事業部を設立され、現在は訪問介護やグループホームなどのバンドーケアポート㈱の代表として活躍されています。